

# 介護保険サービス 提供事業者調査(旧)

## 介護保険サービス提供事業者に関する アンケート調査

### 【アンケート調査へのご協力をお願い】

介護保険サービス提供事業者の皆様には、日頃より三田市の高齢者福祉及び介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

三田市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「三田市高齢者保健福祉計画・三田市介護保険事業計画」を策定し、保健福祉施策や介護保険事業を推進しています。

この計画が令和5年度に終了することに伴い、次期計画を策定するための基礎資料として、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年5月 三田市

### 【ご記入に際してのお願い】

1. このアンケートは、三田市の介護保険サービス提供事業者に送付しています。
2. 表紙左上のラベルに記載しているサービスについてお答えください。
3. 管理者またはそれに準ずる方がお答えください。
4. 質問には、令和5年4月1日現在の状況でお答えください。

### 【お問い合わせ先】

三田市共生社会部 健康共生室 介護保険課 **認定給付係**

電話：079-559-5078 FAX 番号：079-563-1447

受付時間：平日午前9時～午後5時30分

# 1. 人材について

すべての事業者の方にお伺いします。

1	4月1日現在の従業員数について、ご記入ください。また、不足している人数について、職種別に数字をご記入ください。						
	総数 (職種は問いません)	正規職員 人 (うち外国人職員数 人)			非正規職員 人 (うち外国人職員数 人)		
	年齢構成	20歳未満 人、	20歳代 人	20歳未満 人、	20歳代 人		
		30歳代 人、	40歳代 人	30歳代 人、	40歳代 人		
		50歳代 人、	60歳代 人	50歳代 人、	60歳代 人		
		70歳以上 人		70歳以上 人			

不足している職員について、職種と人数をご回答ください。			
職種	不足数	職種	不足数
介護支援専門員	人	介護職員初任者研修修了者	人
介護職員実務者研修修了者	人	社会福祉士	人
ホームヘルパー1級・ 介護職員基礎研修修了者	人	介護福祉士	人
介護職(資格なし)	人	医師	人
看護師・准看護師	人	薬剤師	人
作業療法士	人	機能訓練指導員	人
理学療法士	人	言語聴覚士	人
管理栄養士・栄養士	人	事務職	人
その他( )	人	事業所の不足人数の合計 ※兼務可能な職種の場合、実人数で記入ください。	人

2	採用及び退職者数についてご回答ください。(令和4年4月1日～令和5年3月31日) ※( )に外国人職員数をご回答ください。		
	正規職員	非正規職員	合計
	採用者数	人( )	人( )
	退職者数	人( )	人( )
3	従業員の過不足状況はいかがですか。(○は1つ)		
	1. 大いに不足している	2. 不足している	3. やや不足している
	4. 適当である	5. 余裕がある	

4	人材を確保するための取り組みを行っていますか。(○は1つ)			
1. 行っている		2. 行っていない		
<p>問 4 で「1. 行っている」を選んだ方にお伺いします。取り組み状況とその効果について①～③を、今後、取り組みを検討しているものは④をご回答ください。(○はいくつでも)</p> <p>「2. 行っていない」を選んだ方は、取り組みを検討しているものについて④をご回答ください。</p>				
	取り組み状況			
	①実施	②未実施	③効果が あった	④実施検 討
ハローワークとの連携を図っている	1	2	3	4
定期的に求人誌への掲載などを行っている	1	2	3	4
人材派遣会社との連携を図っている	1	2	3	4
就職説明会への参加を行っている	1	2	3	4
福祉専門学校等教育機関との連携を図っている	1	2	3	4
インターンシップ制度を導入している	1	2	3	4
外国人人材を活用している	1	2	3	4
採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	1	2	3	4
育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	1	2	3	4
無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得等のスキル・キャリアアップ支援をしている。	1	2	3	4
採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	1	2	3	4
給与水準・体系の見直しをしている	1	2	3	4
介護ロボット・ICT活用に取り組んでいる	1	2	3	4
潜在有資格者・経験者の発掘に取り組んでいる	1	2	3	4
その他 ( ) 例：紹介者報奨制度等	1	2	3	4
5	人員が確保できていない場合、その理由は何ですか。			
1. 応募がない		2. 応募はあるが採用に至らない		3. 定着しない
4. 確保できている				
5. その他 ( )				





10	事業を行ううえで、三田市に対する要望はありますか。(〇はいくつでも)
1. 最新・適正な介護保険制度に関する情報の提供 2. 市の高齢者保健福祉サービスに関する情報の提供 3. 他の事業所に関する情報の提供      4. 事業所に関する広報やPRに対する支援 5. 事業者間の連絡調整、連携を強化するための支援 6. ケアマネジャーやサービス提供者の技術向上のための研修 7. ケアマネジャーやサービス提供者のための相談窓口の整備 8. 処遇困難者への対応またはその支援      9. 利用者への適正なサービス利用の啓発 10. 医療機関(訪問診療や認知症対応の可否など)の情報提供      11. 人員確保のための方策 12. 離職防止のための方策      13. 災害や感染症発生時の支援 (      ) 14. その他 (      )      15. 特になし	

### 3. 提供しているサービス、今後の提供意向について

すべての事業者の方にお伺いします。

11	今後、三田市において、新規に展開したい(新規に事業実施に取り組みたい)と考えている介護サービスはありますか。(〇はいくつでも)
1. 訪問介護      2. 訪問入浴介護      3. 訪問看護      4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅療養管理指導      6. 通所介護      7. 通所リハビリテーション 8. 短期入所生活介護・短期入所療養介護      9. 福祉用具貸与・購入      10. 住宅改修 11. 特定施設入居者生活介護      12. 居宅介護支援 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護      14. 夜間対応型訪問介護 15. 認知症対応型通所介護      16. 小規模多機能型居宅介護 17. 認知症対応型共同生活介護      18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護      20. 看護小規模多機能型居宅介護 21. 地域密着型通所介護      22. 介護老人福祉施設      23. 介護老人保健施設 24. 介護医療院      25. 介護予防訪問介護相当サービス(現行相当) 26. 訪問型サービスA(基準緩和型)      27. 訪問型サービスB(生活支援型) 28. 訪問型サービスC(短期集中型)      29. 介護予防通所介護相当サービス(現行相当) 30. 通所型サービスA(基準緩和型)      31. 通所型サービスB(生活支援型) 32. 通所型サービスC(短期集中型)      33. 介護付き有料老人ホーム 34. サービス付き高齢者向け住宅      35. 特になし	



#### 4. サービス、社会資源について

すべての事業者の方にお伺いします。

13	<p>三田市に不足しているサービスは何ですか。下記から選択し、それぞれ番号をご記入ください。（各圏域3つまで）※わかる範囲でご記入ください。</p> <p>※三田市内に事業所がなくても、近隣市町の事業所でサービス提供が充足しているものは記入しないでください。</p>
----	---

#### 介護サービス

圏域	番号（3つまでご記入ください）		
記入例	2	6	20
① 三田・三輪南圏域			
② 三輪北・小野・高平圏域			
③ 広野・本庄圏域			
④ 藍圏域			
⑤ フラワー圏域			
⑥ ウッディ・カルチャー圏域			

1. 不足している介護サービスはない      2. 訪問介護      3. 訪問入浴介護  
 4. 訪問看護      5. 訪問リハビリテーション      6. 居宅療養管理指導  
 7. 通所介護      8. 通所リハビリテーション      9. 短期入所生活介護・短期入所療養介護  
 10. 福祉用貸与・購入      11. 住宅改修      12. 特定施設入居者生活介護  
 13. 居宅介護支援      14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
 15. 夜間対応型訪問介護      16. 認知症対応型通所介護  
 17. 小規模多機能型居宅介護      18. 認知症対応型共同生活介護  
 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護      20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  
 21. 看護小規模多機能型居宅介護      22. 地域密着型通所介護  
 23. 介護老人福祉施設      24. 介護老人保健施設      25. 介護医療院

#### 介護予防サービス

圏域	番号（3つまでご記入ください）		
① 三田・三輪南圏域			
② 三輪北・小野・高平圏域			
③ 広野・本庄圏域			





18

要介護状態になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活するためには、今後、どのような取り組みが必要だと考えますか。(〇は3つまで)

1. 居宅サービスの提供量の拡大
2. 地域密着型サービスの提供量の拡大
3. 多様な主体（住民やNPO法人等）による生活支援サービスの拡大
4. 医療と介護の更なる連携
5. 訪問診療の可能な、かかりつけ医の充実
6. 認知症の早期発見・早期治療を可能にする体制整備
7. 居住環境の整備
8. 介護予防活動の充実
9. 利用者本人の自立意識を高める支援
10. 介護者の身体的・精神的・金銭的な負担の軽減
11. 地域の受け入れ体制の充実
12. 地域や事業所など、高齢者（認知症患者含む）を見守る雰囲気・仕組みづくり
13. 高齢者が活躍できる場の充実
14. その他（）

